

石川県コンクリート診断士会 活動レポート（2019年2月号）

◆（報告）「現場見学会」

主催：石川県南加賀土木総合事務所

- ・開催日：平成30年11月14日（水）
- ・場 所：動橋小学校、動橋川橋（北陸新幹線建設現場）



11月14日（水）に、石川県南加賀土木事務所主催の地元小学校5年生を対象にした橋梁の架設現場見学会に協力して、コンクリートの体験ブースを設けました。無筋、鉄筋そしてPCで作った3枚の板を用意し、生徒さんに乗ってもらいコンクリートの強さを肌で感じてもらうイベントや、ミッキーマウスを型取った枠にセメントを流し込んでの模型づくりの体験などを行いました。現場見学よりこちらの方に歓声があがっていたようです。

◆（報告）「これからの維持管理の技術を考えるフォーラム in 福井」

主催：JCI 中部支部

- ・開催日：平成30年11月21日（水）午後
- ・場 所：福井アオッサ



北陸三県コンクリート診断士会が中心となつての活動です。今回は福井県コンクリート診断士会の主管で開催しました。当会からは麻田副会長がパネルディスカッションに登壇し、「維持管理の現場での技術的課題とこれから求められる技術」と題してプレゼンをしました。

◆（報告）「工事現場見学会」

主催：石川県コンクリート診断士会

- ・開催日：平成 30 年 11 月 21 日（水）午前
- ・場 所：北陸新幹線 動橋川橋りょう工事(施工者：銭高・富士ピーエス・吉光 JV)



「フォーラム in 福井」（11 月 21 日）に合わせて、同日の午前中に現場見学会を開催しました。北陸新幹線事業の一環として石川県加賀市内で行われている「北陸新幹線 動橋川橋りょう工事(施工者：銭高・富士ピーエス・吉光 JV)」です。下部工は「ニューマチックケーソン基礎」、上部工は PC 構造の「ディビダーク工法」により架橋している現場で、上下部一体の橋梁を施工する大規模工事を見学することができました。

◆（報告）「橋梁きずなプロジェクト」

主催：国立石川高等専門学校

- ・開催日：平成 30 年 11 月 30 日（金）
- ・場 所：学校付近の地元町会



11月30日（金）に、地元の国立石川高専が主催する「橋梁きずなプロジェクト」に会員2名が協力しました。学生への講義の一環として、地方自治体が抱えている課題等把握させるとともに、地元への貢献および土木業界について興味を持たせる目的で今年度から新に設けた講座です。参加した会員は「このような取り組みは、点検というハード面以外の多面的な付加価値がたくさんありそうです。とくに産学官をふくめた地域コミュニティの深まりや施設への愛着につながると思いました。」と感想を述べています。地元・産官学一体で橋梁を継続的に橋梁の維持管理に関するきずなを構築する仕組みをつくるという構想は、NPO法人化した診断士会の事業活動にもふさわしく、会の将来に向けてひとつの足がかりとなりそうです。

◆（報告）「平成30年度 コンクリート構造物の維持管理研修」

主催：石川県土木部監理課、いしかわまちづくり技術センター

- ・開催日： 【金沢会場】平成30年12月11日（火）13：30～17：00
【能登会場】平成30年12月14日（金）13：30～17：00
- ・場所： 【金沢会場】石川県行政庁舎 11F 1102 会議室
【能登会場】奥能登行政センター 4F 41～43 会議室
- ・テーマ： コンクリート構造物の中性化、疲労等をメインとした補修、対策技術について
 - ◎「施工時の話題（施工管理、品質確保、初期欠陥）」
 - ◎「中性化、凍害及び補修技術」
 - ◎「化学的腐食（下水道管）及び補修技術」



「コンクリート構造物の維持管理研修」へ当会から講師3名を派遣させていただきました。

◆最新情報・ニュース

◇参加者募集中

「これからの維持管理の技術を考えるフォーラム in 富山」

- ・開催日：平成31年2月15日（金）13：00～17：10
- ・場 所：タワー111 スカイホール

◇参加者募集中

「第12回 コンクリート診断・施工事例発表会」

- ・開催日：平成31年2月27日（水）13：30～17：00
- ・場 所：金沢勤労者プラザ 1階101研修室

（担当：平野）